

## 第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

### B.情報・交通

【HP 掲載No. B06】

発表No.	B06
タイトル	地方都市の居住誘導区域における自家用車通勤実態に関する一考察 ～2000年と2020年の国勢調査小地域による即地的分析を中心として～
所属・名前	長岡技術科学大学 丸岡 陽 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 益子 慎太郎
キーワード	① 地方都市の都市構造 ② 立地適正化計画 ③ 自家用車依存
<p>都市のコンパクト化は基本的な脱炭素化施策であるが、我が国の地方都市の多くは低密度かつ自家用車に依存せざるを得ない都市構造となっており、「大都市のような高密度化が望めない中で、いかに自家用車に依存しない都市構造へと転換していくべきか」という問いが突きつけられている。そこで本研究では、①過去20年間の自家用車通勤の居住誘導区域内外での傾向と、②通勤行動のOD分析により、地方都市の自家用車依存からの脱却の現在地を明らかにするとともに、コンパクトシティ政策と連携したまちづくりGXの基本的方向性について考察することを目的とする。</p> <p>分析の結果、鉄軌道を整備した一部の都市を除き、多くの地方都市は居住誘導区域人口密度が維持または上昇する中でも、自家用車依存が進行していた。居住誘導区域内外を跨ぐ広域な通勤行動の実態から、立地適正化計画の土地利用方針を産業系開発などの他施策にも適用することが重要と考えられる。</p>	